

## 【C 作戦】関連年表

平成元年（1989年）

2月24日 宗門、登山費を一六〇〇円から二三〇〇円に大幅値上げ要求してくる。

7月17日 日顕が禅宗寺院の墓地に墓を建立

10月11日 宗門が創価学会との連絡協議会で「ガーター勲章は謗法」と難癖

平成2年（1990年）

3月13日 宗門が連絡会議で4月1日より御本尊下付・塔婆・永代供養等の冥加料を2倍にすると学会に一方的に通知。

7月16日 大石寺東京出張所（西片）会議。（翌日の連絡協議会での対応を協議）日顕は「池田追放」「財務中止」を激しい口調で強調した。

7月17日 連絡協議会 学会から宗門側の綱紀自粛を要望

7月18日 大石寺・大書院で会議（御前会議）（池田名誉会長追放の線で話が進む）。日顕自ら「池田名誉会長追放」の作戦名に対して、「Cだよ」と命名。

7月21日 池田名誉会長との目通りで日顕は連絡協議会での秋谷会長の発言を取り上げて、秋谷会長に対し「軽慢謗法だ！」、池田名誉会長には「懲罰にかかるから！」と暴言を吐く。

8月29日 教師指導会 「綱紀自粛」を発表。指導会終了後、日顕は伊豆長岡の高級旅館で豪遊。

12月12日 池田名誉会長のスピーチに対する難癖である「お尋ね」文書を伊豆長岡の高級温泉で謀議

12月13日 連絡協議会で宗門が学会に「お尋ね」文書を出す。学会から「テープに改竄があれば総監の責任問題に」と指摘し、話し合いによる解決を要望。宗門側、同文書を引っ込める。

12月16日 宗務院は総監・藤本の名で「第35回本部幹部会における池田名誉会のスピーチについてのお尋ね」と題する文書を学会に送付。

12月23日 学会より、宗門・総監宛に「お伺い」文書を送付（宗門の権威主義的体質を9項目にわたり指摘し、話し合いによる解決を要望）

12月25日 日顕、高橋公純・段勲・押木二郎ら5名と学会破壊の密談。日顕は、高橋・段に「名誉会長を切って学会員のうち20万が山につけばよい」と発言。

12月27日 第百三十臨時宗会 池田名誉会長・秋谷会長らの法華講総講頭並びに大講頭の実質罷免。宗規改正による資格喪失とマスコミに説明（しかし2年後、日顕は懲罰の意があったことを発言）

12月30日 学会より宗門へ「抗議書」を送付（開かれた宗門に 信徒蔑視を改めてほしい 少欲知足の宗風の確立、の三項目を要望）

平成3年（1991年）

- 1月1日 学会が「お尋ね」文書の根拠であるテープ反訳の間違いを指摘
- 1月2日 日顕が秋谷会長、森田理事長に対し、「目通り適わぬ」と対面を拒否
- 1月2日 宗務院書記・福田毅道が「C作戦」にまつわる所感をFAXでSGI事務局に送付。
- 1月6日 全国教師指導会で、日顕が過去の自分の発言を否定して正本堂の意義を改変、池田名誉会長を慢心呼ばわりする。
- 1月12日 学会側から「お尋ね」文書の根拠であるテープ反訳の間違いを指摘され、重大な質問部分を撤回、総講頭罷免の根拠が崩れる。
- 2月 『大日蓮』で正本堂に関する日顕の説法（1月6日と10日に発言）の2カ所を訂正
- 3月5日 宗門、SGI会長の海外信徒指導一任を廃止する旨の通告を学会に送付。工藤玄英氏と大橋正淳氏との目通りの席上で、C作戦について「あのヤロー（池田名誉会長）の首を切ることだ」とC作戦の目的が名誉会長の処分にあったことを告白する。
- 3月9日 日顕の正本堂説法の二カ所を訂正する旨の文書を藤本の名で学会に送付
- 3月16日 宗門が学会に添書登山通知
- 6月5日 宗門が添書登山の公告を一般紙に掲載
- 6月7日 宗門の一方的な添書登山実施により経営が行き詰まることを苦にバス会社「大富士開発」副社長が自殺
- 7月2日 添書登山開始
- 8月23日 所化の行学講習会で、福田毅道が講義中、「C作戦」についてはワープロを打っただけと弁明。また、SGI事務局に間違ってFAXを送って謹慎になったと告白
- 8月24日 所化との目通りで日顕は、「広宣流布はワシが許可してやったんだ」と暴言。
- 8月29日 教師指導会。末寺住職が檀徒の指導の仕方を質問すると、日顕は「信心がいやになろうが関係ないんだ。そんな奴は頭からカマシてやればいいんだ」と無慈悲な発言をする。
- 10月21日 僧侶を葬儀に呼ばなければ〃地獄に墮る〃と脅迫まがいの「通告文」を学会に送付
- 10月～ 日顕退座要求署名運動がおこる
- 11月2日 岡崎雄毅氏との目通りで日顕が「池田名誉会長が上でワシが下なんて許せない」と発言
- 11月7日 「解散勧告書」を学会に送付
- 11月28日 「破門通告書」を学会に送付
- 11月30日 宗門が学会員に対する「御本尊下附停止」を発表
- 12月27日 全世界一六〇四万九六三八人の「法主退座要求書」の署名簿の受取りを拒否

平成4年（1992年）

- 2月2日 「日蓮正宗改革同盟」結成。7人の僧侶が日頭に「諫暁の書」を送付し、宗門から離脱 その後、離脱住職が続出
- 3月30日 「青年僧侶改革同盟」結成
- 3月31日 非教師指導会。日頭が「池田託道（日蓮正宗改革同盟）なんかはカネをもらって離脱」と名誉毀損の発言。
- 5月28日 僧侶と妻の会合である寺族同心会で、日頭「ボンクラどもが千人万人おるよりも仏様一人が正しい」と民衆をボンクラ呼ばわり。
- 6月16日 「憂宗護法同盟」が結成される
- 6月17日 シアトル買春事件発覚
- 7月4日 宗門が池田名誉会長に対し「信徒除名」処分
- 9月 大石寺の桜伐採 11月までに総門から三門にかけての百五十二本
- 10月18日 日達法主の子息である細井琢道住職（足立・実修寺）が「宗風刷新への進言」を日頭に送付。その文書の中で「猯下は帰国後、シアトルで夜外出し、酒を飲み、道に迷ったところを、現地の婦人部の人に助けられたと他言していた」と記述する。
- 11月2日 細井琢道氏 宗門から離脱
- 11月18日 「芸者写真問題」が発覚。『創価新報』に芸者に囲まれニヤけている日頭の写真が掲載される。
- 11月24日 韓国偽装寺院事件 日頭の決裁と援助で寺院建設。これを福祉施設と偽って開館式。
- 12月6日 法華講目通りで、日頭は芸者と一緒に写真を撮ったことは「記憶にない」「合成写真だと皆も言っている」と弁明する。

#### 平成5年(1993年)

- 1月15日 宗内機関紙『慧妙』で「芸者写真」について「首をすげ替えた合成写真」「猯下はこの柄の袴は持たれていない」と弁明
- 1月下旬 総門から三門にかけての桜を66本伐採（計・218本）
- 2月 本山の桜伐採 総門から三門にかけての桜を60本伐採（計・278本）
- 2月22日 「芸者写真」を撮った椎名法昭氏が証言
- 3月16日 『大白法』で「芸者遊びは一切衆生を平等に救済する慈悲」と荒唐無稽な反論
- 5月1日 宗門が『創価新報』が「芸者写真」を偽造したとして、学会と池田名誉会長に対し、謝罪広告等の請求を東京地裁に提訴
- 8月28日 全国教師講習会の目通り 日頭は「シアトル事件」について、「ホテルから一步も出ていません」と全面否定
- 9月7日 第70回創価学会本部幹部会 日寛上人の御本尊授与の決定を発表
- 11月23日 韓国偽装寺院事件 「用途変更許可を全面取り消し」の決定により、宗門側が完全敗北

#### 平成6年(1994年)

- 1月1日 河辺慈篤の「C作戦」の極秘メモが宗内外に流出
- 4月6日 海外檀徒との目通りで日顕は、昭和27年、学会が宗教法人を設立した時に法人設立を反対していたことを白状する。
- 5月1日 憂宗護法同盟が日顕を告発する本「法主の大醜聞」を刊行
- 5月26日 僧侶と妻の会合である「寺族同心会」で日顕が「僧侶が墮落したのは信徒が供養したから」責任転嫁の放言。
- 7月8日 毛利博道ら3人韓国で「外為法」違反で有罪判決 日顕が関与し、韓国寺院建設のために毛利博道らが不法に大金を韓国に持ち込む。
- 8月21日 日顕 「シアトル事件」について「本当なら私はもう即座に辞めますよ」と宣言
- 8月24日 全国教師指導会で日顕が暴言。「ミーちゃんハーちゃんにわかるようにペコペコよ、頭下げて説いたら、本当の法なんか説けやしない」「民衆、民衆って言う奴ほどバカなんだ」と暴言
- 12月 宗門が本山・末寺の板御本尊から願主である池田名誉会長の名前を削除し始める。

#### 平成7年(1995年)

- 1月20日 韓国で宗門派遣僧侶3名が法律違反により摘発。出入国管理法違反で罰金を課せられ、強制出国措置（国外追放）の厳重処分。
- 2月14日 「大韓民国日蓮正宗連絡事務所」を当局が「出入国管理法」違反の容疑で家宅搜索。韓国マスコミは日顕の指示による違法布教であると指摘し社会問題として大きく報じる。
- 3月18日 ブラジル・一乗寺訴訟の学会側勝訴が確定
- 6月6日 池上本門寺貫首ら一行が大石寺参詣。
- 8月23日 大客殿の解体を発表。
- 8月29日 韓国・偽装寺院問題で、毛利博道、日本の外為法違反でも罰金。
- 9月29日 日顕、「シアトル事件」裁判で、飲酒のために外出したことを認める。

#### 平成8年(1996年)

- 3月31日 法華講春期総登山。大雨・洪水・強風など7つの注意報のなか強行。
- 10月18日 日顕、体調異変で連続26日間、丑虎勤行を欠席。

#### 平成9年(1997年)

- 9月17日 身延僧約30名、大石寺参詣。

9月29日 「シアトル事件」裁判で、日顕の証人尋問が決定

12月22日 「シアトル事件」裁判で日顕出廷。ウソと言い逃れに終始。

平成10年(1998年)

1月19日 日顕のウソ発言を名誉毀損として池田託道住職が訴えていた裁判で日顕が敗訴。

2月2日 「シアトル事件」裁判で日顕出廷。「疑惑の手帳」をめぐり、日顕、苦しい言い逃れ。

5月18日 「シアトル事件」裁判で日顕出廷。

5月26日 日顕の“一番弟子”後藤信和が女子中学生への淫行で逮捕(6月5日、暴行容疑で再逮捕)。

6月23日 日顕、正本堂解体を強行。

7月2日 アルゼンチン宗教省、日顕宗の法人登録を抹消。

9月28日 日顕、1ヶ月の入院

平成11年(1999年)

7月7日 「同盟通信 87号」、日顕が戒壇の大御本尊を偽物と断じていたことをスクープ。この問題を契機に3人の僧侶が離脱

12月19日 日顕「私が、あの平成2年において、ある決断をしました」等と説法し、自らC作戦を首謀したことを暴露

平成12年(2000年)

3月21日 シアトル事件裁判で東京地裁が「事件は真実」と認定。宗門側完全敗訴の判決

12月5日 芸者写真裁判で東京高裁が宗門側敗訴の判決

平成13年(2001年)

9月27日 日顕の台湾親修を台風が直撃。現地マスコミも"日本の花和尚が豪勢な台湾旅行"と報道(~10月1日)

10月1日 日顕宗の機関紙「慧妙」が米国の同時多発テロを"日顕宗を迫害したことによる諸天の睨り"であると大暴論。米国のマスコミから糾弾の嵐

平成14年(2002年)

- 1月24日 名古屋・妙道寺(中島法信住職)の寺院明け渡し裁判で宗門が最高裁で敗訴
- 1月29日 岩手・常説寺(山本辰道住職)の明け渡し裁判で宗門が最高裁で敗訴
- 1月31日 シアトル事件裁判、宗門側がすべての訴えを取り下げ、和解。学会側全面勝利で決着
- 2月22日 神奈川・大経寺(渡辺慈濟住職)の明け渡し裁判で、同じく宗門が最高裁で敗訴。「ニセ法主疑惑」が原因で宗門が最高裁で3敗
- 2月22日 シアトル事件をめぐるデマで、東京地裁が宗門に400万円の賠償命ずる判決

#### 平成15年(2003年)

- 2月12日 シアトル事件をめぐるデマで、高裁が日顕に対し、宗門と連帯して400万円の賠償命ずる判決
- 7月15日 池田託道住職名誉毀損事件で、最高裁が上告棄却。日顕の敗訴が確定
- 7月16日 憂宗護法同盟が「法主詐称阿部日顕の正体を暴く」を発刊。日顕が相承箱を所持していないと糾弾

#### 平成16年(2004年)

- 2月24日 芸者写真裁判、最高裁が上告棄却。宗門側敗訴が確定
- 4月1日 「法主は、遷化又は自らの意思による以外はその地位を退くことはない」など宗規を大幅改変

#### 平成17年(2005年)

- 2月10日 ビラやインターネットでデマを流した事件、最高裁で日顕宗檀徒らの敗訴が確定
- 3月29日 総監の藤本が辞任、後任に早瀬日如
- 12月2日 日顕が退座を表明
- 12月12日 阿部日顕から早瀬日如に相承の儀式(日達法主から日顕には相承の儀式はなかった)
- 12月15日 早瀬日如が管長に選出される。